

F-CON iS 通信ケーブル

取扱説明書

取付けは、必ず専門業者に依頼してください。

取付前及びご使用になる前に必ずお読みください。

本書はお読みになった後も、本製品の側に置いてご利用ください。
ご使用中にわからないことや、不具合が生じた際に便利です。



Pursuing the Ultimate in Engine Performance and Efficiency
HKS Company Limited

E82111-K0010-00
2006年1月発行
Ver. 3-1.01

はじめに

この度は、HKS F-CON iS 通信ケーブルをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品を安全に使用していただき、かつ機能を十分に発揮させるために、取付け前、及び使用する前に本書をお読みください。

商品名	F-CON iS 通信ケーブル
用途	F-CON iS 取付用車両故障診断通信ケーブル
使用可能車種	F-CON iS 取付車両で「4. 接続方法（1）接続方法」に記載の車両
コード No.	42999-AK009
備考	

本製品は、車両の故障診断コネクタ（16ピン台形型）に接続し、HKS F-CON iSの機能を向上させるためのケーブルです。（一部車種を除く）

- F-CON iS以外には対応していません。
- 純正コンピューター搭載車両専用です。純正以外のコンピューター搭載車両には適合していません。
- 車種によっては未対応車種や特殊なものがありますので、「4. 接続方法（1）接続方法」にてご確認をお願い致します。
- 本ケーブルを接続することによりエンジンチェックランプ等が点灯・点滅する車種があります。
- 「4. 接続方法（1）接続方法」に記載されていない車種に使用した場合のトラブルについては弊社では責任を負いかねます。
- 本取扱説明書をよく読んで、充分理解した上で取付作業を始めてください。

製品特徴

VIDEO出力機能を使用することにより以下の事が可能です。

- 純正点火時期をモニター可能
点火時期がモニター可能です。
- 純正燃料フィードバック状態をモニター可能
純正燃料フィードバック状態がモニター可能です。
- 純正燃料フィードバック学習状態をモニター可能
純正燃料フィードバック学習状態がモニター可能です。

- 本書は本製品を安全に使用していただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を示しています。
- お客様、又は第三者が本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねます。
- 本製品の取付けには、車両の内外装、及び電装系の取外し、加工等の作業が伴います。当社はこれらの作業による物的損害の責任を負いかねます。慎重に作業してください。
- 本製品はノーマル車両及びHKS製品取付け車両を基準に開発されています。上記車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 本製品は、DC12Vマイナスアースの国産車のみで使用可能です。
- 本製品の仕様は、付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書は予告なく改版することがあります。
- 本書は取付け終了後、お客様に渡してください。
- 本製品は日本国内での使用を目的に設計されたものです。海外では使用しないでください。
This product is designed for use in Japan only.
It must not be used in any other country.

用語の説明

- OBD II : 自動車メーカーの故障診断規格。
16ピンの台形型コネクタが車両に装着されている。
- OBD II 接続コネクタ : F-CON iS通信ケーブルの車両接続側のコネクタ。
- データ通信線 : 車両とF-CON iSとの情報交換用の線。
- F-CONカブラー : 車種別専用ハーネスのF-CON側へ接続するカブラー。
- PW : PowerWriterの略。

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。本製品を正しくご使用、お取扱いただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。

警告 作業員又は使用者が、死亡又は重傷を負う可能性がある場合

注意 作業員又は使用者が傷害を負うおそれがある場合（人損）拡大物損の発生が想定される場合（拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害【例えば車両の破損及び焼損】）

- 警告**
- 本製品及び付属品は運転の妨げになる場所に取付けないでください。運転操作ができなくなり、事故の原因となります。
 - 本製品は、DC12Vマイナスアース車両用です。24V車両には使用しないでください。火災の原因となります。
 - バッテリーのマイナス端子のターミナルを取外してから取付け作業を行ってください。ショート等による火災及び電装部品の破損・焼損の原因となります。
 - コネクタを外すときは、断線しないようにコネクタを持って外してください。ショート等による火災及び電装部品の破損・焼損の原因となります。
 - 使用中、本製品に異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店、又は（株）エッチ・ケー・エスお客様相談室にお問い合わせください。
そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。
 - 運転中、ドライバーはF-CON iS 画面切替スイッチの操作をしないでください。
ドライバーが操作する時は安全な場所に車を停車してから操作してください。わき見運転は事故の原因となります。

注意

- 本製品の取付けは必ず専門業者に依頼してください。
- オイル・水等の異物が混入しないようにしてください。
- 作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
- 作業を始める前にエンジンルーム内の各部の温度が約40℃位（手で触れて熱くない程度）に下がっていることを確認してください。
火傷をする恐れがあります。
- 高温になる場所・水等がかかりやすい場所・湿気やほこりの多い場所を避けて取付けてください。
- 作動不良を起こし、車両を破損する恐れがあります。
- 配線は断線・ショート・誤配線のないように行ってください。
感電及び車両の破損・焼損の恐れがあります。
- 作動確認は、一般公道では行わないでください。
他の通行車両の妨げとなり、事故の恐れがあります。
- 本製品及び車両の本来の性能が損なわれている場合には、速やかに点検・整備を専門業者に依頼してください。
- 故障等の修理はお客様ご自身で対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、車両に異音・異臭・振動等の異変があった場合には、ユーザーマニュアルに従って対処してください。

- 日常点検はドライバーの責任です。必ず実施してください。
- 本書は基本の形を説明したものです。実際は車種によって取付方法が異なります。
- 純正部分の取付け・取外しの作業はメーカー発行の整備書をよく読んでから行ってください。
・整備書がお手元ない場合は、メーカーにてご購入ください。
- 誤配線・誤配管がないか、確認しながら取付けてください。
- 取付け作業のために一時的に取外す純正部品は、破損・紛失しないように大切に保管してください。
- ボルト・ナット類は適切な工具で確実に締付けてください。
・必要以上に締め付けを行なうと、ボルトのネジ部が破損します。
- 接続時に、車両の配線を断線しないように取付けてください。
- 車種別専用ハーネス（別売）は、指定のHKS製を使用してください。
- 車種別専用ハーネス（別売）の使用していない端子は、完全に絶縁してください。
・絶縁ができていないと、F-CON iSの内部回路が破損する事があります。

パーツリスト

本製品は、下記の部品で構成されています。取付前に異品、欠品のないことを確認してください。



取付方法

1. バッテリーターミナルの取外し
(1) バッテリーのマイナス端子のターミナルを取外してください。
2. データ通信線の接続
(1) 接続するデータ通信線は車種により異なります。詳細については「4. 接続方法（1）接続方法」を参照してください。

3. F-CONカブラーの开封

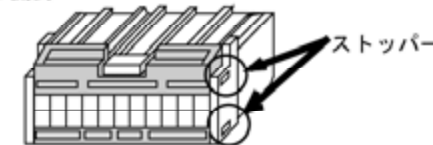


図1. F-CONカブラー

左右両側に付いているストッパーを外に開きながら図1.の灰色部のカバーを上げると端子が挿入できる状態になります。

4. 接続方法
作業終了後は線を軽く引っ張っても抜けないことを確認してください。また、使用しない線はテープ等で確実に絶縁してください。

- (1) 接続方法
データ通信線 : F-CONカブラー30番とOBD II接続コネクタ7番から出ているデータ通信線（白）を接続してください。
端子は「カチツ」と音がするまで押し込んでください。対応車種は下表の通りです。

端子の上下方向は図4の中央にあるカブラーの方向に対して同図左の端子の方向です。作業が終了したら开封と逆の手順でカバーがストッパーに引っかかるまで押し込んでください。

車名	車両型式	エンジン型式	年式	PW設定
アリスト	JZS161	2JZ-GTE	97/8~00/6	TOYOTA2
インプレッサ	GC8 Ver5/6	EJ207	98/9~00/7	SUBARU2
	GDB A/B型	EJ207	00/10~02/10	
	GDB C型	EJ207	02/11~	
レガシー	BE5	EJ208	98/12~01/4	SUBARU2
	BH5	EJ208	98/6~01/4	
インテグラ	DC5	K20A	03/04~04/04	HONDA2



図2. F-CONカブラー
(※コネクタ図は端子挿入側(図4の矢印)から見たもの)

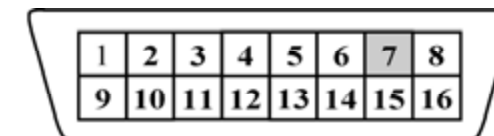


図3. OBD-II接続コネクタ
(※コネクタ図は端子挿入側(図4の矢印)から見たもの)

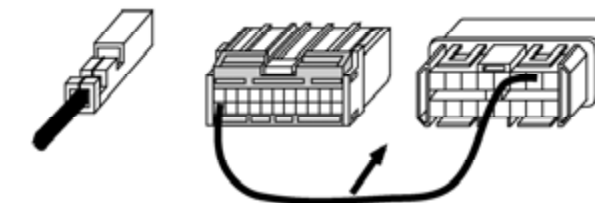


図4. 端子見取り図

※接続箇所を誤るとF-CON iSばかりでなく、車両側ヒューズ等を破損させてしまう可能性があります。必ずバッテリーを外した状態で、配線を確認してから接続して下さい。

※使用していない線は将来の拡張用です。現在は使用しませんので確実に絶縁して下さい。

5. 車 両へのF-COMS 通信ケーブルの装着
配線が確実にされていることを確認してから車 両の故障診断端子へ接続してください。

6. 取付け後の作業
バッテリーのマイナス端子のターミナルを取付けてください。

取付け後の確認

本製品を取付けた後、必ず下記の確認を行ってください。本製品の取付け作業に間違いのないことを十分に確認した上で、本書をお客様にお渡しください。

- (1) エンジン始動前に下記の事項を確認してください。

確認項目	確認
使用していない線は絶縁されているか。	
ハーネスを強くはさんでいないか。	
ハーネス及び取付けた部品が車両の部品と干渉していないか。	
バッテリーのマイナス端子が元通りに取付けてあるか。	

Power Writer側の設定

- (1) OBD II タイプの設定
・パラメータ設定の「基本」項目において、OBD II タイプを「4. 接続方法 (1) 接続方法」に従って設定してください。
- (2) VIDEO出力項目の設定
・次に、「VIDEO」項目において、外部画面に表示するパラメータを選択してください。F-CON iS通信ケーブルを使用しなくても画面へパラメータを表示することはできますが、OBD項目(点火、燃料補正值、学習値など)は正常な表示はできません。
・更に、バーグラフの設定が行えます。車 両の仕様やお好みに合わせてお使いいただけます。

接続とPower Writer側の設定が終了したら

エンジンを始動する前に、イグニッションONのみの状態で正常に動作しているかを確認してください。
もし正常に動作していない場合、「故障とと思う前に」を参照してください。

故障とと思う前に

本製品が正常に作動しない場合には、故障と判断する前に、下記の症状と照らし合わせて、配線・接続の確認をしてください。

症状	原因	確認・対策
通信できない イグニッションON後画面にUnconnectionと表示される	車両との接続がされていない	コネクタが外れていないかを確認する
	誤配線	配線が確実に行われているかを確認する
	純正コンピューターではない PW設定のOBD II タイプが合っていない	純正コンピューターを使用する OBD II タイプが合っているかを確認する
OBD項目の表示だけが途中で止まる 異常な値を表示する	コネクタの外れ・接触不良	コネクタが緩んだり外れていないかを確認する
	通信ケーブルの断線	配線を強引に折り曲げたりしていないかを確認する
	通信ケーブルの破損 コネクタの破損	通信ケーブルやコネクタが破損していないかを確認する
表示する数値がメーター等と違う 変化が遅れる	純正コンピューターとその他機器との誤差	純正コンピューター内部で使用している数値を表示しているため、純正メーターや後付のメーター等と多少の誤差が生じることがある
	コネクタの緩み・外れ・破損	コネクタが緩んだり、破損していないか確認する
OBD II 接続コネクタがすぐに外れる	通信ケーブルのコネクタの破損 車 両側コネクタの破損	通信ケーブル側のコネクタが破損しているか、車 両側コネクタが破損している可能性あり
数値は大きく変動するのにバーグラフが少ししか動かない	バーグラフ設定値	バーグラフの最大値・最小値を確認する
最大値(最小値)近辺であるのに黄色いバーや赤いバーが表示されない	黄バー・赤バー設定値	対象項目の黄バー・赤バーの設定値が合っているかを確認する
	赤バー位置設定	対象項目の赤バー位置設定が最大値(項目によっては最小値)になっているかを確認する

異常・故障時の対応

警告
●使用中、本製品に異音・異臭等の異変があった場合には、本製品の使用を直ちに中止し、お買い上げの販売店、又は(株)エッチ・ケー・エスお客様相談室にお問い合わせください。 そのまま使用すると、感電や火災の原因となります。

注意
●故障等の修理は、お客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。 ●走行中、車両に異音・異臭・振動等の異変があった場合には、ユーザマニュアルに従って対処してください。

アフターサービスについて

本製品に関する問い合わせは、お買い上げの販売店又は(株)エッチ・ケー・エスお客様相談室までお問い合わせください。
お客様の不注意等により修理が必要になった場合でも、お気軽に(株)エッチ・ケー・エスお客様相談室にお問い合わせください。

譲渡等の際の注意

本製品を譲られるときは、必ず次のオーナーのために本取扱説明書を一緒にお渡しください。

改訂の記録

Ver.	日付	記載変更された内容
3-1.01	2006/1	初版

お客様相談室・受注センター一覧

株式会社 エッチ・ケー・エス
〒418-0192
静岡県富士宮市北山7181
<http://www.hks-power.co.jp/>

※電話番号は変更になることがあります。あらかじめご了承ください。
[禁無断複写・転載] © (株)エッチ・ケー・エス

【メモ】